

**別府市総合計画後期基本計画策定に係る
移住・定住意識調査**

報 告 書

平成 27 年 2 月

別 府 市

目 次

| | |
|---------------------------------|----|
| 1. 調査の概要 | 1 |
| (1) 調査の目的 | 1 |
| (2) 調査概要 | 2 |
| (3) 回収結果 | 2 |
| 2. 転出者向けアンケート調査の結果 | 3 |
| 3. 転入者向けアンケート調査の結果 | 18 |
| 5. 転出者と転入者の比較について | 31 |
| 5. アンケート調査票（転出者向けアンケート調査） | 33 |
| 6. アンケート調査票（転入者向けアンケート調査） | 35 |
| 7. 移住・定住意識調査に関する結果概要及び考察 | 37 |
| (1) 移住・定住意識調査に関する結果概要 | 37 |
| (2) 移住・定住意識調査に関する考察とまとめ | 37 |

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

総合計画後期基本計画では、移住・定住者像の絞り込みや、インセンティブの導入など、具体的な移住・定住関連施策を検討する必要があるため、移住・定住意識調査を実施し、別府市の地域特性等を考慮した政策の方向性を検討するための基礎資料とします。

その結果は、具体的な移住・定住推進施策を検討するための基礎資料とするとともに、後期基本計画策定にも反映させていきます。

(2) 調査概要

- ◇ **調査地域** : 別府市全域
- ◇ **調査対象** : 別府市への転入者もしくは転出者の各500人とし、20歳以上69歳以下の日本人を対象とする。
- ◇ **調査方法** : 市民課窓口にて転入届、転出届の手続きに来た市民を対象に、その場でアンケート票を配布し記入提出してもらうことで実施する。
- ◇ **調査期間** : 平成26年(2014年)8月25日～平成27年(2015年)1月31日
- ◇ **調査内容** : 下表のとおり

| アンケート項目 | アンケートの設問について | | |
|--------------|--------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| | アンケート設問例 | アンケート設問の主なねらい、留意点 | |
| 属性の把握 | 共通 | <ul style="list-style-type: none"> ・性別、年齢 ・職業 ・勤務先 ・転出入時の家族構成 ・住宅所有形態 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケート回答者の属性を確認する。 ・家族構成を把握することにより、転入に関してどのような家族構成となっているのか把握する。 |
| | 転出者向け | <ul style="list-style-type: none"> ・転出先の住所(都道府県、市町村名) ・転出前の住所(市内の住所) ・別府市での居住年数 ・別府市に戻る可能性 | <ul style="list-style-type: none"> ・転出先を確認することにより、どのような住環境の場所が好まれるのか把握する。 ・別府市内のどこから転出するのか確認することにより、住環境として改善すべき地域を把握する。 |
| | 転入者向け | <ul style="list-style-type: none"> ・転入先の住所 ・転入前の住所(都道府県、市町村名) ・これまでの別府市での居住有無 ・別府市を転出する可能性 | <ul style="list-style-type: none"> ・転入先を確認することにより、どのような地域からの転入の可能性のあるのか把握する。 |
| 転出入の理由と市への要望 | 共通 | <ul style="list-style-type: none"> ・転出入の理由 ・転出入の際、居住地を選ぶ時に重視する事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・転出入の理由を把握する。 ・居住地を選ぶ際に、重視する事項を把握することにより、今後のまちづくりの方向性を検討する際の参考とする。 |
| | 転出者向け | <ul style="list-style-type: none"> ・別府市の魅力 ・別府市での暮らしの満足度 ・別府市のまちづくりへの要望事項 | <ul style="list-style-type: none"> ・転出者より、別府市の魅力やまちづくりを行ううえでの留意点を把握することにより、今後のまちづくりの方向性を検討する際の資料とする。 |
| | 転入者向け | <ul style="list-style-type: none"> ・別府市に決めた理由 ・今後の別府市のまちづくりに関する要望 | <ul style="list-style-type: none"> ・他都市の居住者から見た場合の別府市の魅力を把握する。 ・転入者の別府市への要望を把握することにより、今後のまちづくりの方向性を検討する際の資料とする。 |

(3) 回収結果

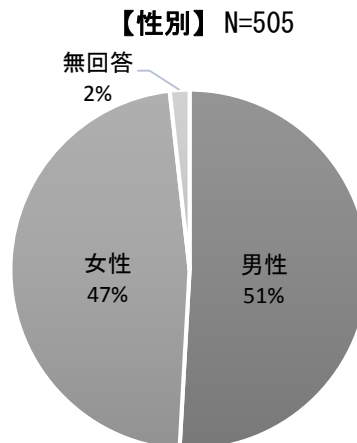
| 回収数合計 | 転出者小計 | 転入者小計 |
|-------|-------|-------|
| 746 | 390 | 356 |

2. 転出者向けアンケート調査の結果

問1. アンケート回答者（転出者）の属性

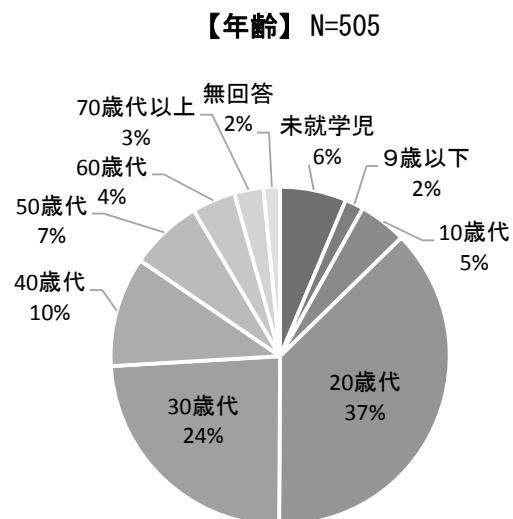
① 性別

・「男性」が51%、「女性」が47%で、若干男性が多くなっている。



② 年齢

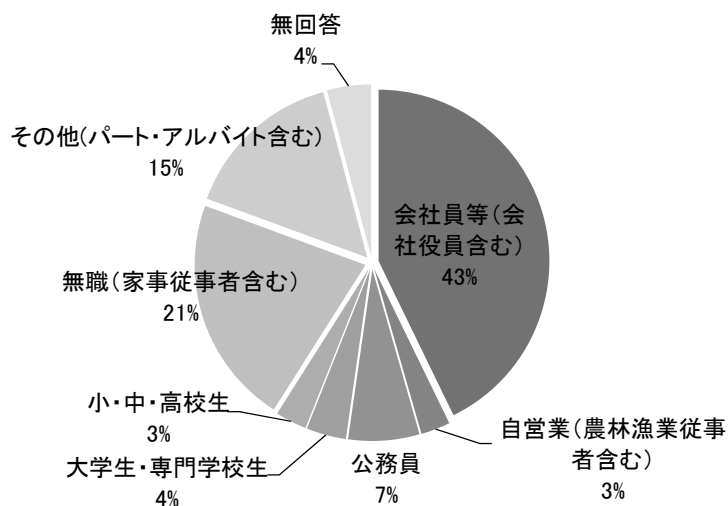
・「20代」が37%で最も多く、次いで「30代」が24%、「40代」が10%となっている。



③ 職業

・「会社員等（会社役員含む）」が43%で最も多く、次いで「無職（家事従事者含む）」が21%、「その他（パート・アルバイト含む）」が15%となっている。

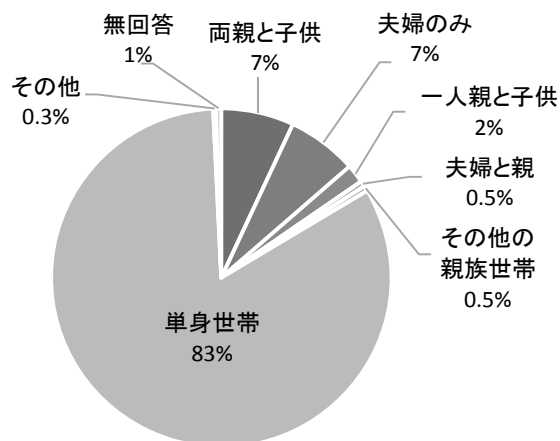
【職業】 N=505



④ 家族構成

・「単身世帯」が83%と突出して多く、次いで「両親と子供」、「夫婦のみ」が7%となっている。

【家族構成】 N=390

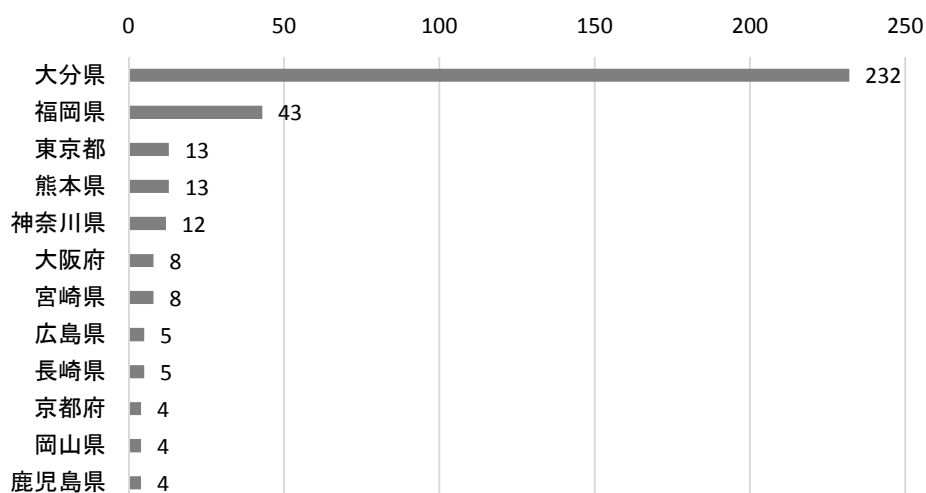


問2. 転出前後の状況

(1) 転出後の住所（全国）

・「大分県」が 232 件と突出して多く、次いで「福岡県」が 43 件、東京都、熊本県が 13 件となっている。

【転出後の住所(全国)】 N=385



【その他】

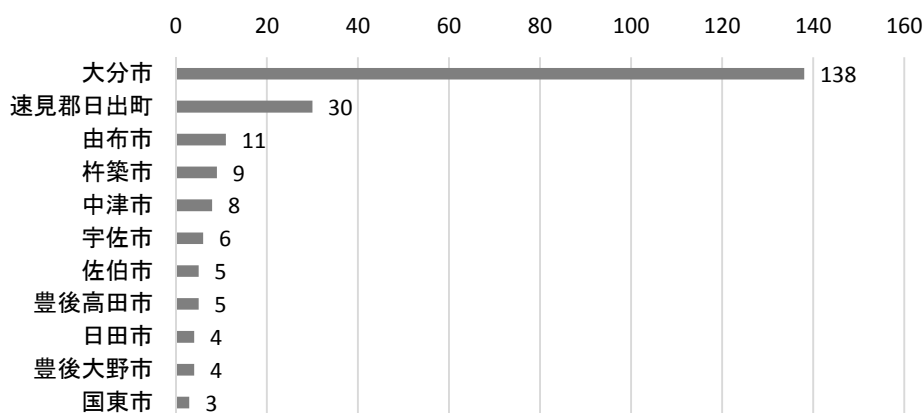
北海道, 茨城県, 兵庫県, 山口県, 佐賀県 各 3 件

栃木県, 埼玉県, 愛知県, 奈良県 各 2 件

転出後の住所（大分県内）

・「大分県」の中では、「大分市」が 138 件と突出して多く、次いで「速見郡日出町」が 30 件となっている。

【転出後の住所(大分県内)】 N=232

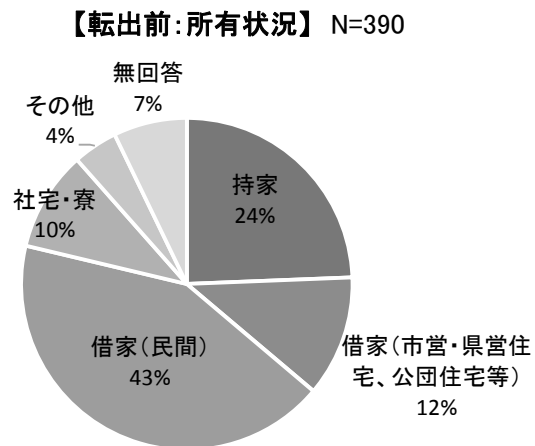


【その他】

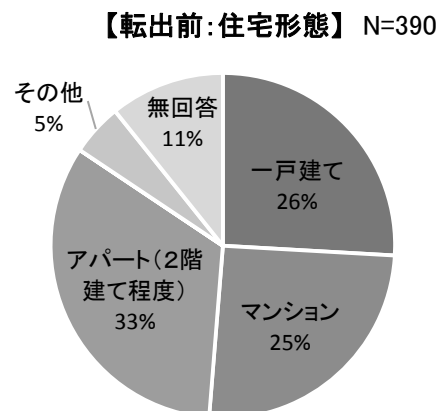
竹田市, 玖珠郡玖珠町, 無記入 各 2 件

(2) 転出前後の住宅の所有状況

・「借家（民間）」が43%と最も多く、次いで「持家」が24%、「借家（市営・県営住宅、公団住宅等）」が12%となっている。

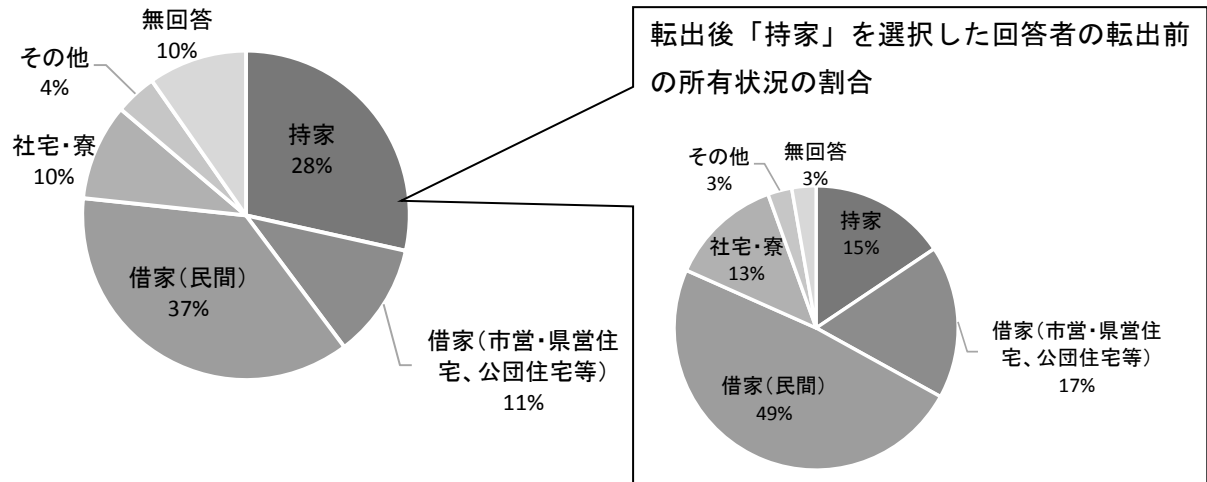


・「アパート（2階建て程度）」が33%と多く、次いで「一戸建て」が26%、「マンション」が25%となっている。



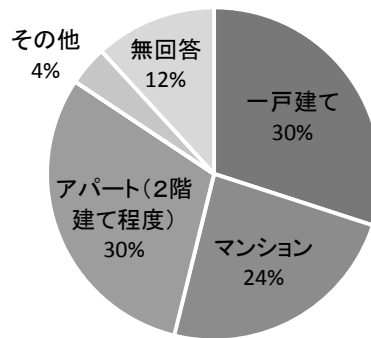
- ・「借家（民間）」が 37%と多く、次いで「持家」が 28%、「借家（市営・県営住宅、公団住宅等）」が 11%となっている。
- ・転出後の所有状況が「持家」を選択した回答者の転出前の所有状況を分析したところ、借家（民間）が 49%で最も高い。

【転出後：所有状況】 N=390



- ・「アパート（2階建て程度）」が 30%で最も多く、次いで「一戸建て」が 30%、「マンション」が 24%となっている。

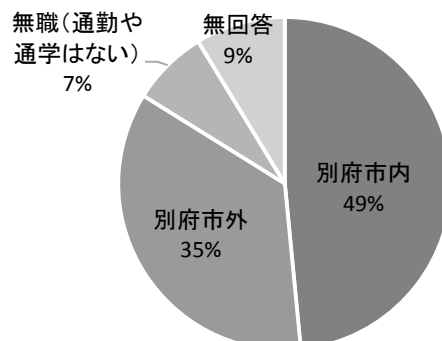
【転出後：住宅形態】 N=390



(3) 世帯主の転出前の勤務先（又は学校）

・「別府市内」が49%と半数近くを占めており、「別府市外」は35%となっている。

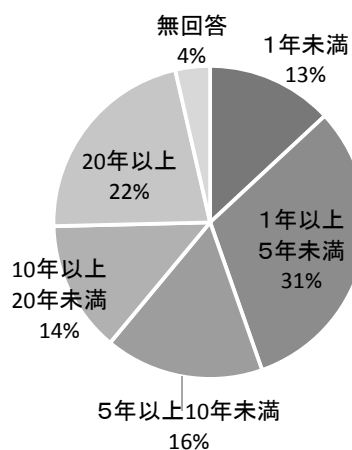
【勤務先・学校】 N=390



問3. 別府市での居住年数

・「1年以上5年未満」が31%と最も多く、次いで「20年以上」が22%、「5年以上10年未満」が16%となっている。

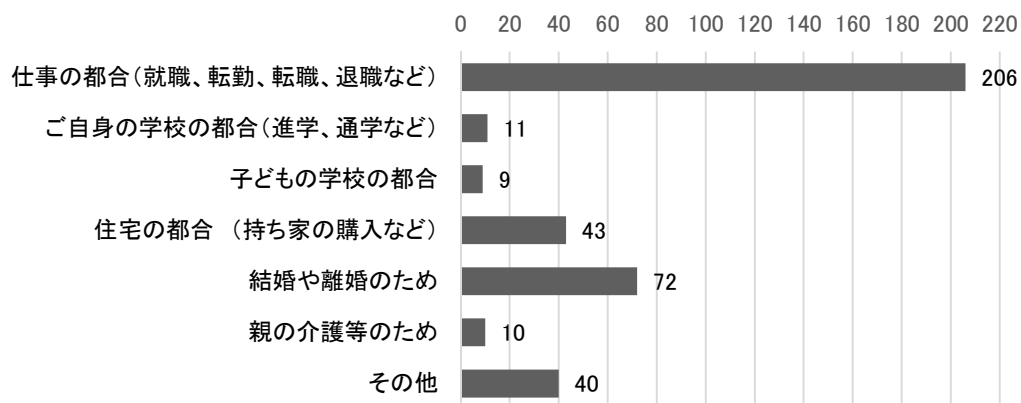
【居住年数】 N=390



問4. 転出の主な理由

・「仕事の都合」が 206 件と突出して多く、次いで「結婚や離婚のため」が 72 件「住宅の都合」が 43 件となっている。

【転出の主な理由】 N=391



【その他】

・子供が産まれたが、市立小学校で学級崩壊が起こっており、先生も解決を諦めている。地区の小学校に入れるのは不安なため、住宅購入に合わせ、大分市に転出することにした。

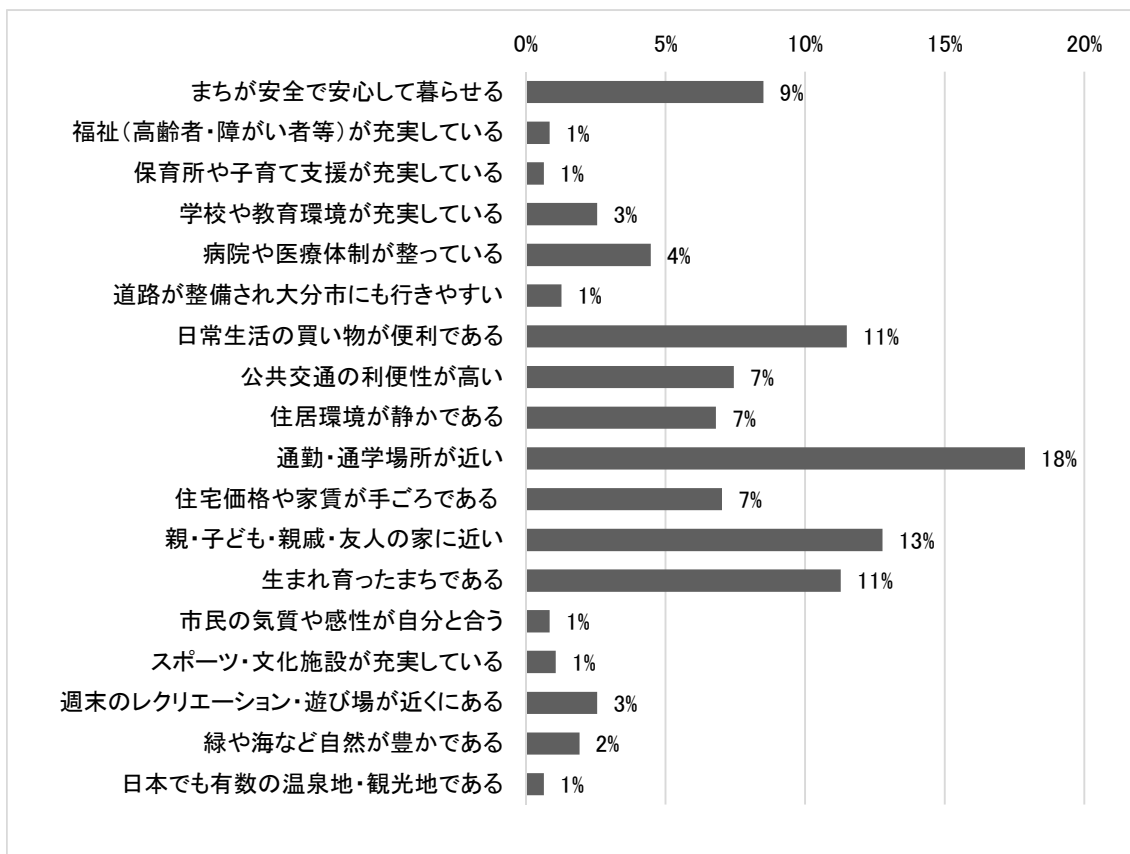
- ・移住
- ・親の都合
- ・祖父と暮らすため。
- ・ムカデが出るため
- ・マンション購入

・家の都合

問5. 転出先を選んだ理由（全体）

・「通勤・通学場所が近い」が18%（84件）で最も多く、第1の転出理由であることがうかがえる。次いで、「親・子ども・親戚・友人の家に近い」が13%（60件）、「日常生活の買い物が便利である」が11%（54件）となっている。

【転出先を選んだ理由】 N=470



【その他】

・仕事の都合（16件）

・実家があるから（8件）

・家の都合（同居等）（5件）

・仕事先に近い（5件）

・結婚のため（3件）

・配偶者の仕事の都合（2件）

・呼ばれたから

・病院・老人ホーム

・予算

・別府の税金高い

・転職活動のため

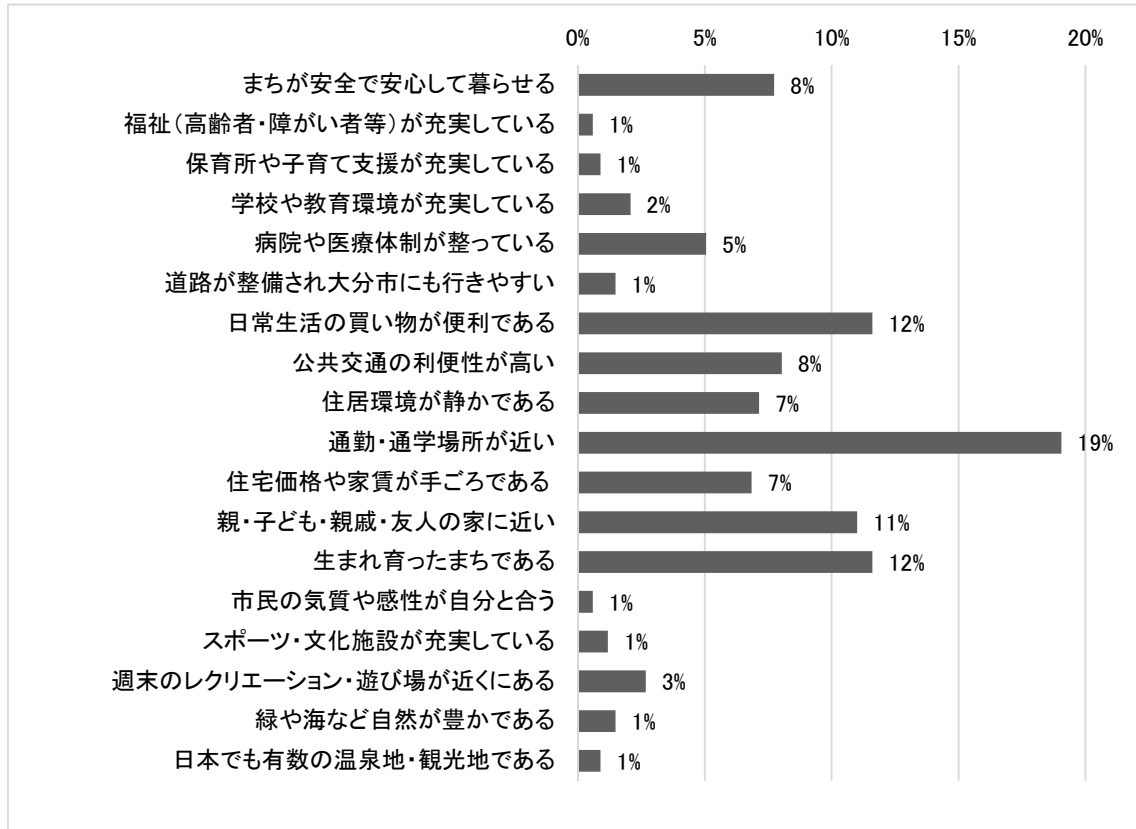
・嫁のため

・実家を出たかった。居場所がない

転出先を選んだ理由（20～30代）

- ・「通勤・通学場所が近い」が19%（64件）で最も多く、第1の転出理由であることがうかがえる。次いで、「日常生活の買い物が便利である」と「生まれ育ったまちである」が12%（39件）となっている。
- ・全体と比較した場合、傾向に大きな違いは見られない。

【転出先を選んだ理由】 N=336



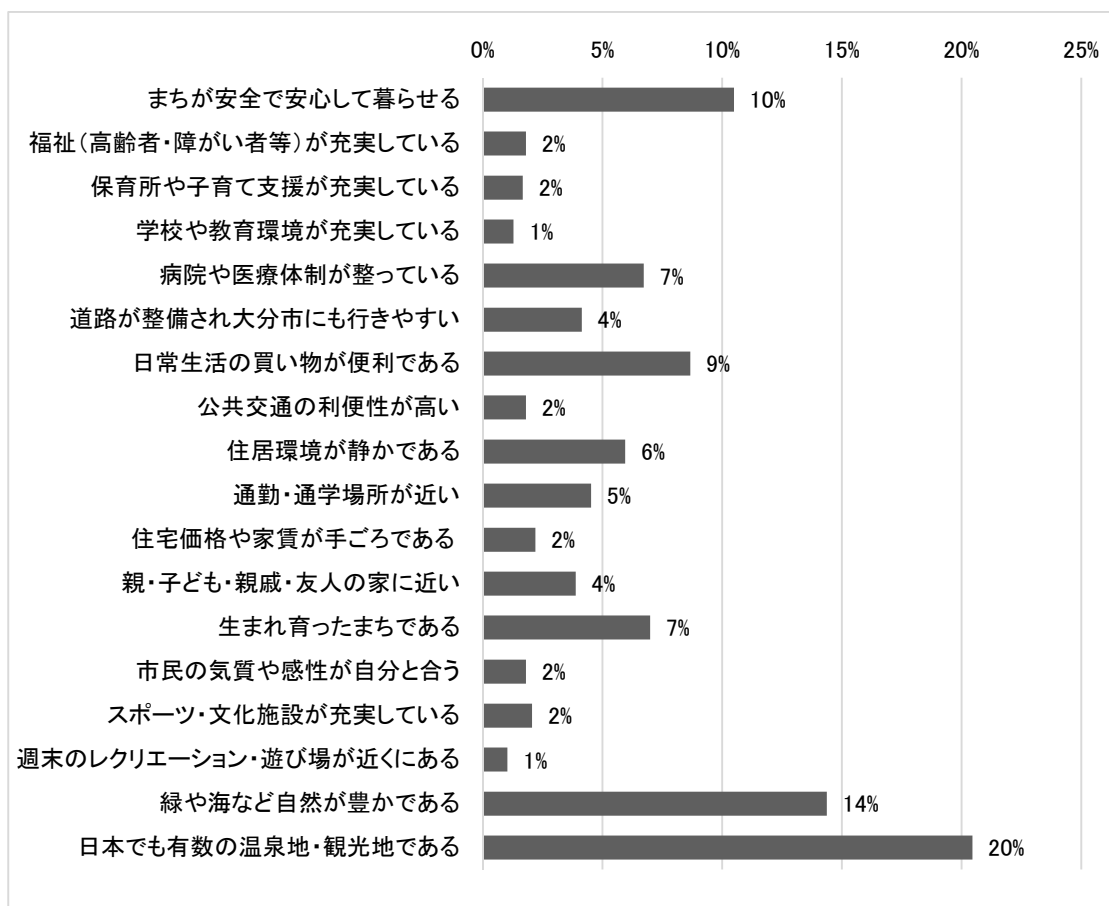
【その他】

- | | | |
|----------------|----------------|-------|
| ・仕事の都合(14件) | ・配偶者の仕事の都合(2件) | ・嫁のため |
| ・実家があるから(5件) | ・呼ばれたから | |
| ・家の都合(同居等)(3件) | ・予算 | |
| ・仕事先に近い(3件) | ・別府の税金高い | |
| ・結婚のため(3件) | ・転職活動のため | |

問6. 別府市の魅力（全体）

・別府市の魅力としては「日本でも有数の温泉地・観光地である」が20%（155件）で最も多く、次いで「緑や海などの自然が豊かである」が14%（111件）、「まちが安全で安心して暮らせる」が10%（81件）となっており、別府ならではの「温泉」や「豊かな自然」が挙げられている。

【別府市の魅力】 N=772



【その他】

・住みやすい。

・外食できる所の充実が魅力。

・転職で会社が近いため。

・景観が美しい

・自分にとっての第二のふるさと(海外生活が長かったので)・人がやさしい。ただし道の整備が行き届いていない

・温泉と住みやすさ

・全てにおいて別府が良い。本当は離れたくない。

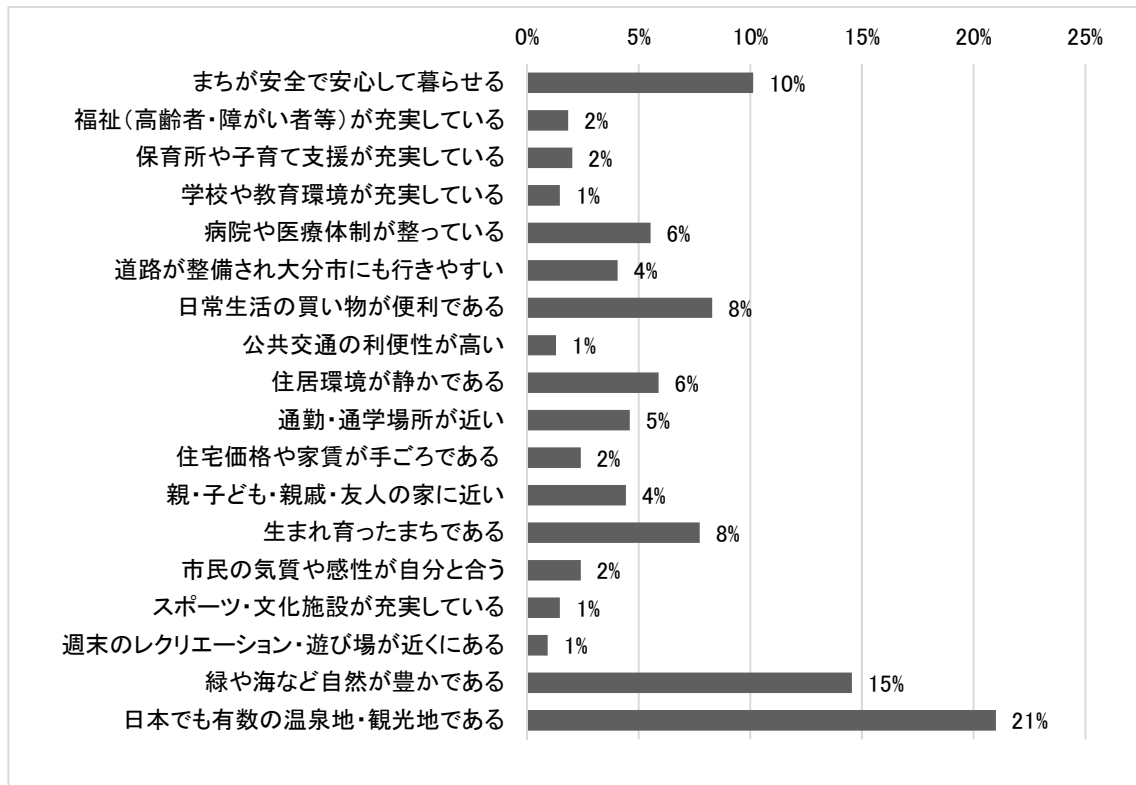
・仕事の都合

・温泉とその文化

別府市の魅力（20～30代）

- ・別府市の魅力としては「日本でも有数の温泉地・観光地である」が 21%（114 件）で最も多く、次いで「緑や海などの自然が豊かである」が 15%（79 件）、「まちが安全で安心して暮らせる」が 10%（55 件）となっており、別府ならではの「温泉」や「豊かな自然」が挙げられている。
- ・全体と比較した場合、傾向に大きな違いは見られない。

【別府市の魅力】 N=543

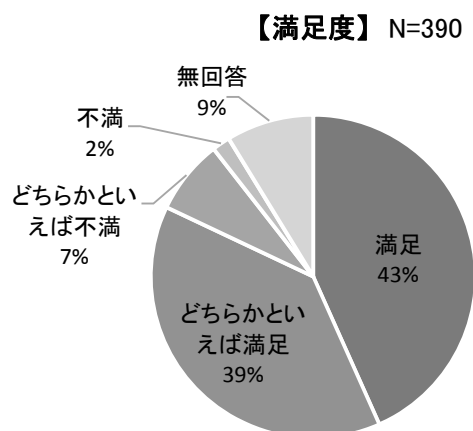


【その他】

- | | | |
|----------------|------------------------------|-------------------------|
| ・住みやすい。 | ・自分にとっての第二のふるさと（海外生活が長かったので） | ・全てにおいて別府が良い。本当は離れたくない。 |
| ・外食できる所の充実が魅力。 | ・人がやさしい。ただし道の整備が行き届いていない | ・仕事の都合 |
| ・景観が美しい | | |

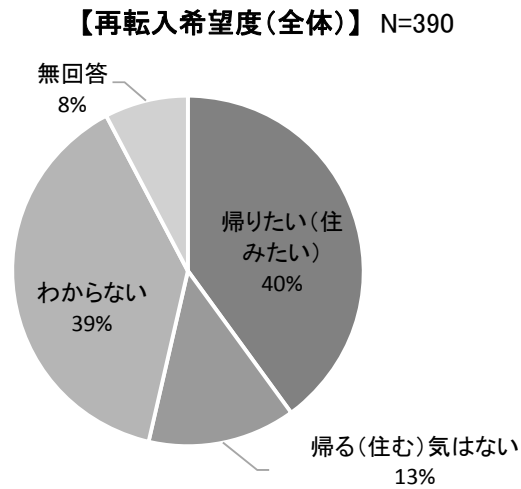
問7. 別府市での満足度

・「満足」が41%、「どちらかといえば満足」が40%となり、合わせて約80%が概ね満足していることとなる。



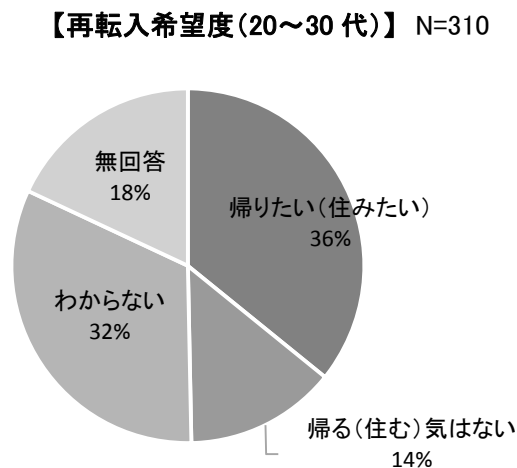
問8. 再転入の希望の有無（全体）

- ・「帰りたい（住みたい）」が 40%と多く、「帰る（住む）気はない」の 13%を大きく上回っているが、「わからない」も 39%を占めている。



再転入の希望の有無（20～30代）

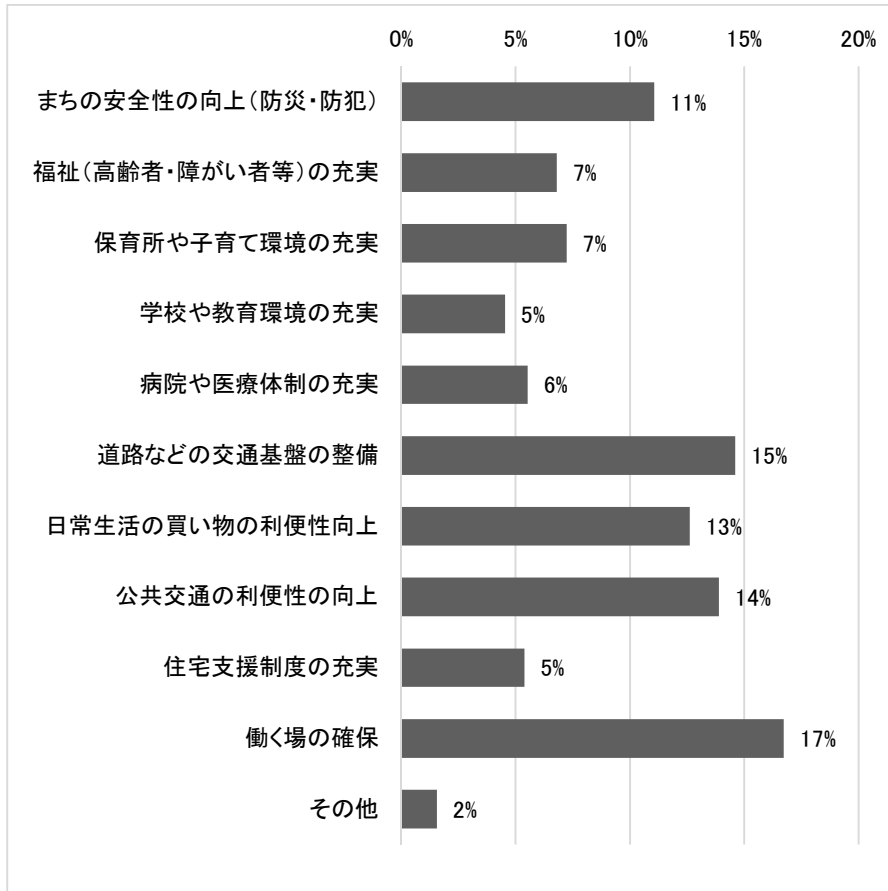
- ・「帰りたい（住みたい）」が 36%と多く、「帰る（住む）気はない」の 14%を大きく上回っているが、「わからない」も 32%を占めている。
- ・全体と比較した場合、帰りたい（住みたい）という割合が 20～30 代のほうが低くなっている。



問9. まちづくりへの期待

・「働く場の確保」が17%（118件）で最も多く、次いで「道路などの交通基盤の整備」が15%（103件）、「公共交通の利便性の向上」が14%（98件）となっている。

【まちづくりへの期待】 N=705



【その他】

- ・国民健康保険料・税金が高い(7件)
- ・地域ぐるみでのスポーツの支援をしてほしい。
- ・市民全体のレベルアップ(意識の高さ)
- ・本屋を増やしましょう。オタクにやさしい町づくりを。アニメイト、イベントして下さい。
- ・エンターテインメントの充実
- ・観光都市としての飛躍
- ・道が狭い不便
- ・高崎山の無料バス(バス、タクシー等)
- ・家を建てる場所が山側以外なかなかない。
- ・今のままでいい
- ・ボーリング場などの遊技場

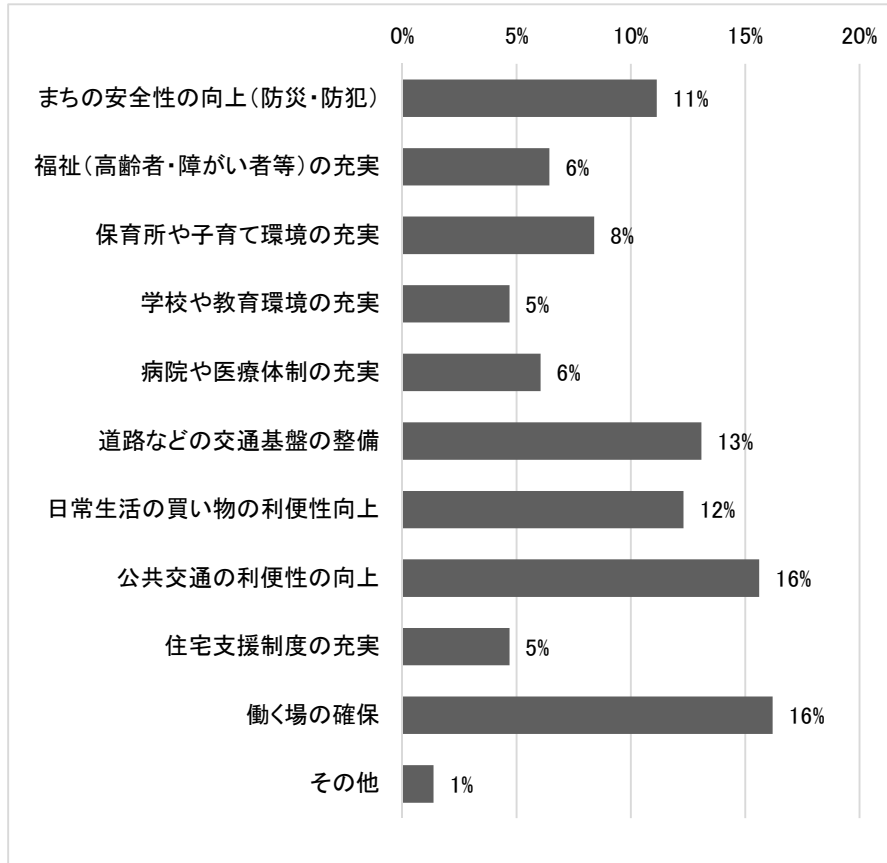
- ・市立図書館の移設と蔵書数の増加。今の図書館は場所が悪いし蔵書も少ない。きちんとした労働環境で働ける場所。(いわゆるブラックでない)
- ・土地の値段が下がれば。
- ・観光産業の向上→活気が出る
- ・バスが高齢の方にとって乗りやすくなってほしい
- ・他の市町村に比べて警察の取締巡回の頻度が高い→いいことであるが、ものすごく細やか過ぎる→例えば、交通取締の待機場所が非常にわかりづらい
- ・観光地としての街の整備
- ・バスの賃金を下げてほしい。終電、終バスが早すぎる！

- ・問8⇒少しだけごみごみしている。落ち着きたい気がある
- ・高齢者入居施設の低所得者が安心して暮らせるようにしていただきたい。苦境にさらされていてもわずかな生活費で暮らしている人のための窓口をテレビ等で知らせて欲しい。なかなか、自分で訴えられない人がいます。
- ・観光地としてのまちづくり
- ・公共マナーが悪いと感じる。運転が乱暴。
- ・市議会議員がクリーンとは思えない
- ・日本有数の温泉文化を継承して欲しい
- ・ありがとうございましたー！
- ・車の運転がひどい。民度を上げる。

まちづくりへの期待（20～30代）

- ・「働く場の確保」が16%（83件）で最も多く、次いで「公共交通の利便性の向上」が16%（80件）、「道路などの交通基盤の整備」が13%（67件）となっている。
- ・全体と比較した場合、傾向に大きな違いは見られない。

【まちづくりへの期待】 N=512



【その他】

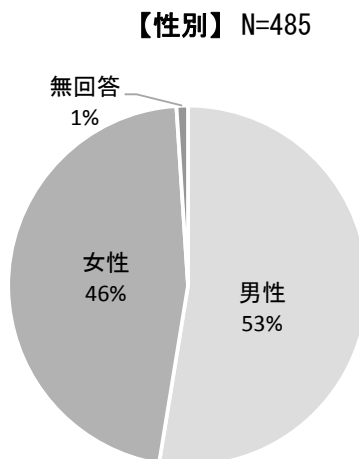
- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・国民健康保険料・税金が高い(6件) ・地域ぐるみでのスポーツの支援をしてほしい。 ・市民全体のレベルアップ(意識の高さ) ・エンターテインメントノ充実 ・道が狭い不便 ・家を建てる場所が山側以外なかなかない。 ・ボーリング場などの遊技場 ・市立図書館の移設と蔵書数の増加。今の図書館は場所が悪いし蔵書も少ない。きちんとした労働環境で働ける場所。(いわゆるブラックでない) ・土地の値段が下がれば。 | <ul style="list-style-type: none"> ・観光産業の向上→活気が出る ・バスが高齢の方にとって乗りやすくなってほしい ・他の市町村に比べて警察の取締巡回の頻度が高い→いいことであるが、ものすごく細やか過ぎる→例えば、交通取締の待機場所が非常にわかりづらい ・観光地としての街の整備 ・バスの賃金を下げてほしい。終電、終バスが早すぎる！ ・観光地としてのまちづくり ・ありがとうございましたー！ |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

3. 転入者向けアンケート調査の結果

問1. アンケート回答者（転入者）の属性

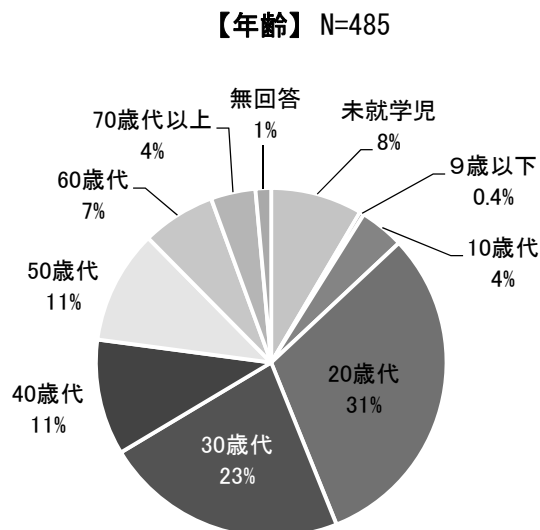
① 性別

・「男性」が53%、「女性」が46%で、若干男性が多くなっている。



② 年齢

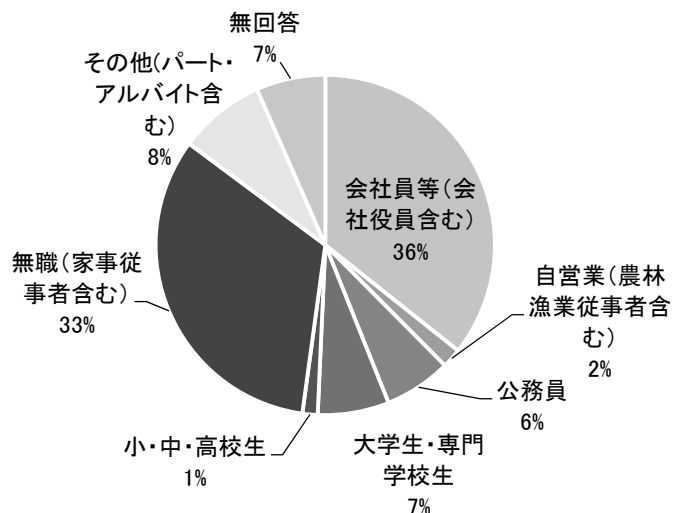
・「20代」が31%で最も多く、次いで「30代」が23%、「40代」が11%となっている。



③ 職業

・「会社員等（会社役員含む）」が36%で最も多く、次いで「無職（家事従事者含む）」が33%、「その他（パート・アルバイト含む）」が8%となっている。

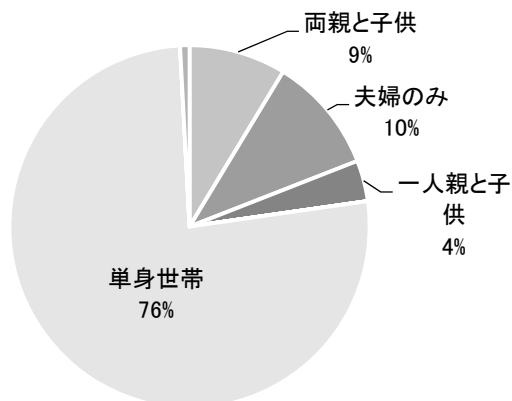
【職業】 N=485



④ 家族構成

・「単身世帯」が76%と突出して多く、次いで「夫婦のみ」が10%、「両親と子供」が9%となっている。

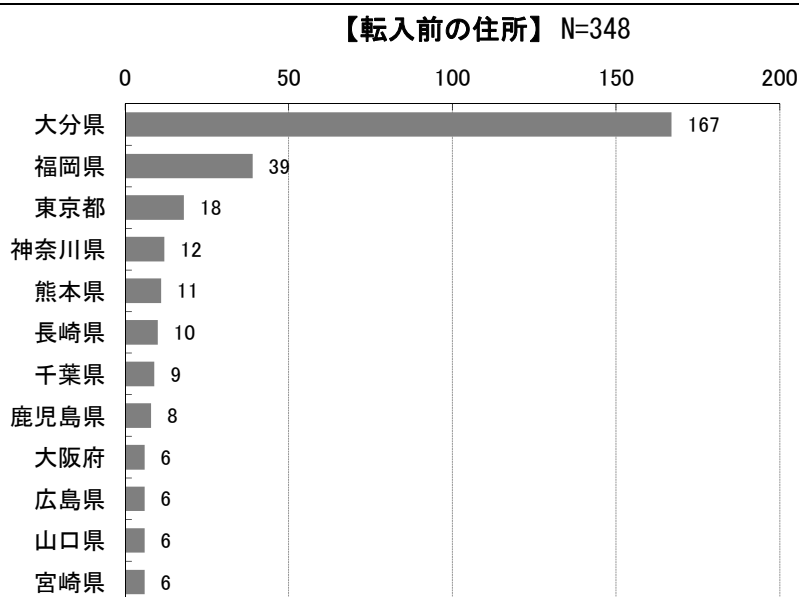
【家族構成】 N=356



問2. 転入前後の状況

(1) 転入前の住所

・「大分県」が167件と突出して多く、次いで「福岡県」が39件、東京都が18件となっている。



【その他】

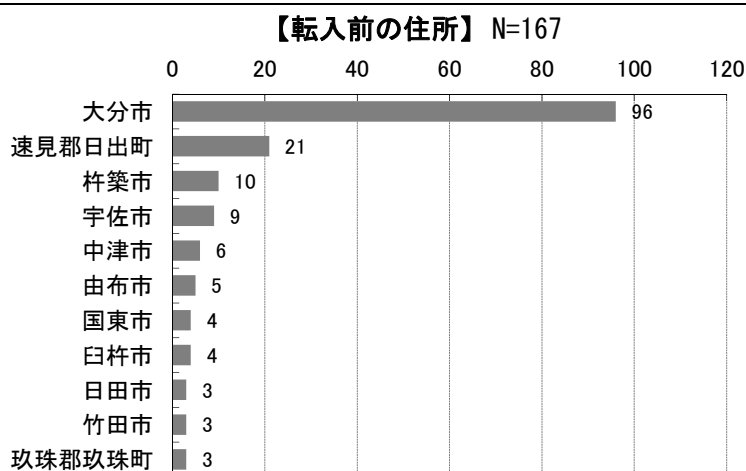
愛知県, 三重県 各5件、兵庫県, 岡山県, 佐賀県 各4件、北海道, 沖縄県 各3件

長野県, 岐阜県, 滋賀県, 香川県, 愛媛県 各2件

青森県, 山形県, 福島県, 茨城県, 栃木県, 埼玉県, 富山県, 静岡県, 京都府, 和歌山県, 鳥取県, 島根県, アメリカ, オーストラリア, 中華人民共和国 各1件

転入前の住所（大分県）

・「大分県」の中では、「大分市」が96件と突出して多く、次いで「速見郡日出町」が21件となっている。



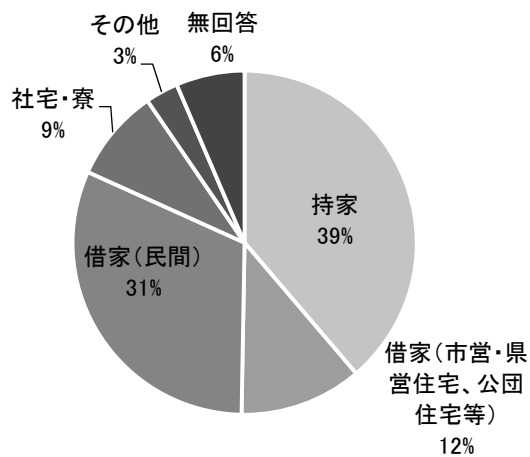
【その他】

津久見市, 豊後高田市, 玖珠郡九重町 各1件

(2) 転入前後の住宅の所有状況

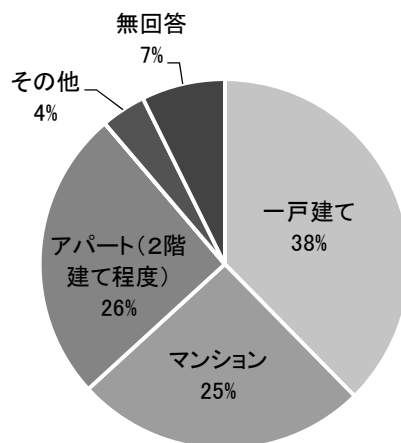
・「持家」が39%で最も多く、次いで「借家（民間）」が31%、「借家（市営・県営住宅、公団住宅等）」が12%となっている。

【転入前:所有状況】 N=356



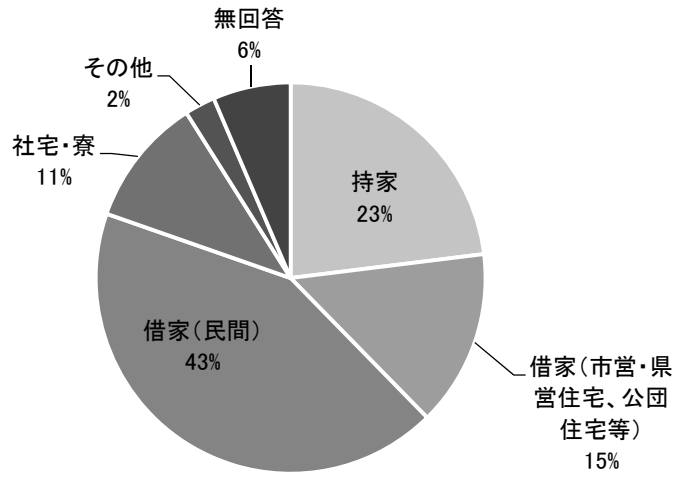
・「一戸建て」が38%で最も多く、次いで「アパート（2階建て程度）」が26%、「マンション」が25%となっている。

【転入前:住宅形態】 N=356



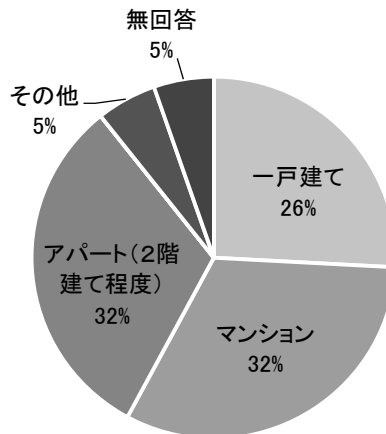
・「借家（民間）」が43%で最も多く、「持家」は23%と転入前より大幅に減っている。

【転入後：所有状況】 N=356



・「マンション」と「アパート（2階建て程度）」が32%と最も多く、次いで「一戸建て」が26%となっている。

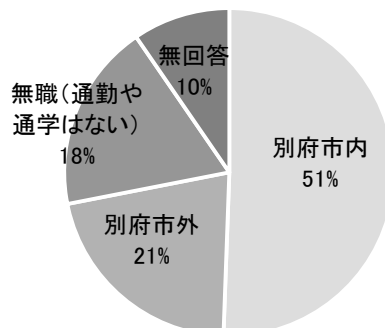
【転入後：住宅形態】 N=356



(3) 世帯主の転入後の勤務先（又は学校）

・「別府市内」が51%と全回答の半数を超えている。「無職（通勤や通学はない）」と「無回答」を除くと「別府市内」が約7割を占めることとなる。

【勤務先・学校】 N=356



【別府市外の内訳】

(大分県内)

大分市:43件

宇佐市:7件

国東市、日出町:4件

由布市:3件

杵築市:2件

臼杵市、津久見市、佐伯市、無記入:1件

(大分県外)

福岡県福岡市:2件

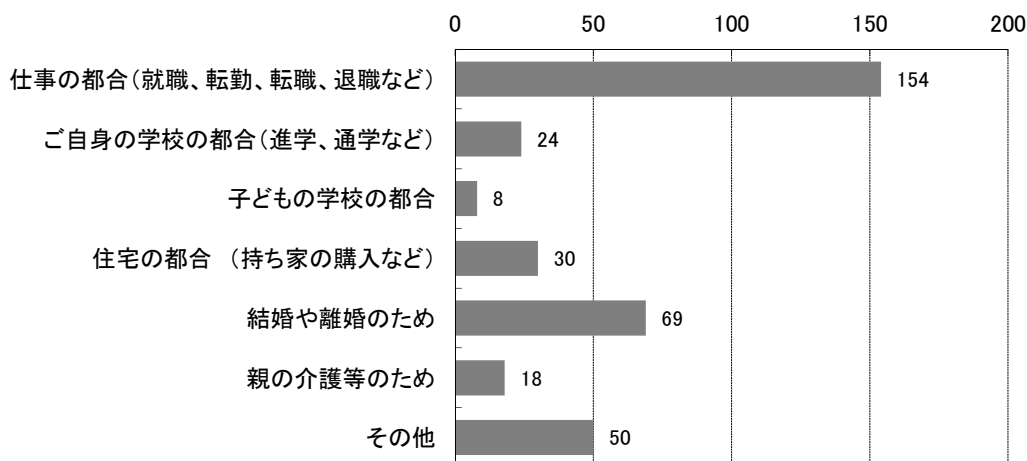
千葉県市川市、熊本県菊陽町、愛知県刈谷市:各1件

無記入:2件

問3. 転入の主な理由

・「仕事の都合」が154件と突出して多く、次いで「結婚や離婚のため」が69件となっている。

【転入の主な理由】 N=353



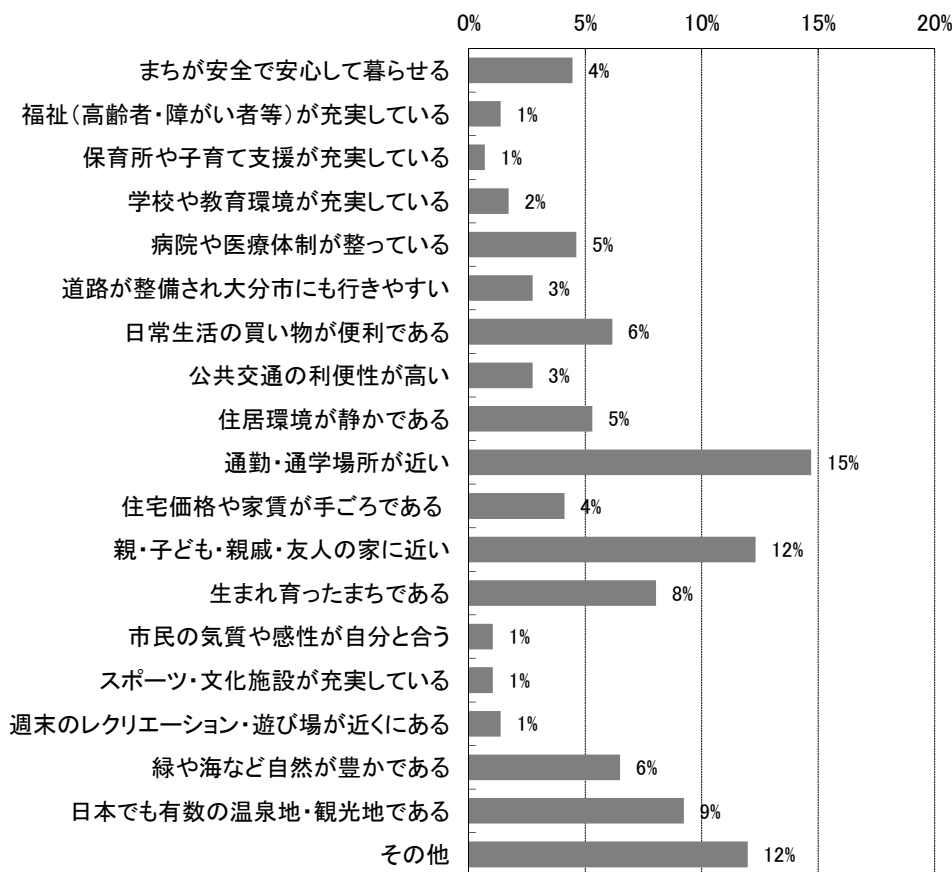
【その他】

- | | | |
|------------------------|-----------------|------------------------|
| ・別居の為 | ・病気療養のため | ・リタイヤし、リラックスできる暮らしを求めて |
| ・老後の利便性 | ・兄弟の居る大分へ移住するため | ・温泉が豊富 |
| ・車購入のために必要だから | ・子どもと同居のため | ・帰国のため |
| ・妻の体調が悪く、その対策のため | ・職業訓練校入校を希望している | ・弟の病院が西別府になったため |
| ・福島第一原発事故の放射能から遠ざかるため。 | ・別府に住みたい | ・別府が好きなので |
| ・免許 | ・免許取得のため | ・車の免許証更新のため |
| ・生き方 | ・Uターン | ・娘の出産後のケアのため |
| | ・温泉 | |

問4. 別府市を選んだ理由（全体）

・「通勤・通学場所が近い」が15%（86件）で最も多く、第1の転入理由であることがうかがえる。次いで「親・子ども・親戚・友人の家に近い」が12%（72件）、「日本でも有数の温泉地・観光地である」が9%（54件）となっており、比較的多いと言える。

【別府市を選んだ理由】 N=585



【その他】

・仕事の都合:15件

・大学の都合:9件

・土地や家がある、地元・実家がある:各4件

・同居のため:3件

・配偶者の仕事の都合:2件

・勤務地から一番近くて24時間保育がある市町村が別府だったから。

・友人の紹介

・海外文化との交流が盛んである。

・新築で不老泉が狭くなったのは残念。車の駐車も多くできるようにしていただきたい。

・運転免許取得のため。

・アートと街が近い

・結婚を期に

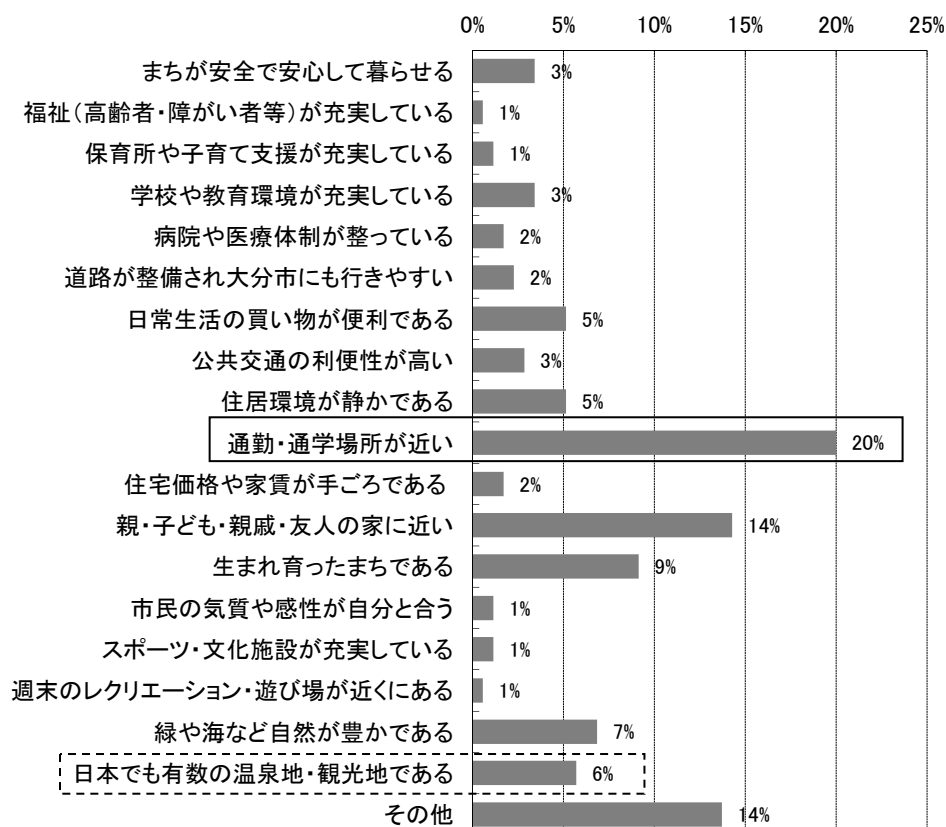
・元々主人が住んでいたため

・以前生活していた、温泉・海がある

別府市を選んだ理由（20～30代）

- ・「通勤・通学場所が近い」が20%（35件）で最も多く、第1の転入理由であることがうかがえる。次いで「親・子ども・親戚・友人の家に近い」が14%（25件）、「生まれ育ったまちである」が9%（16件）となっており、比較的多いと言える。
- ・全体と比較した場合、「通勤・通学場所が近い」については20～30代の割合が高く、「日本でも有数の温泉地・観光地である」については割合が低くなっている。

【別府市を選んだ理由】 N=175

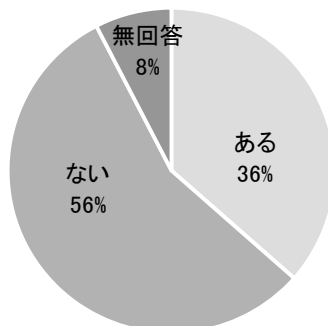


| 【その他】 | | |
|----------------------|----------------------------------|-------------------|
| ・仕事の都合：13件 | ・勤務地から一番近くて24時間保育がある市町村が別府だったから。 | ・元々主人が住んでいたため |
| ・大学の都合：6件 | ・海外文化との交流が盛んである。 | ・以前生活していた、温泉・海がある |
| ・土地や家がある、地元・実家がある：3件 | ・アートと街が近い | |
| ・配偶者の仕事の都合：各2件 | ・結婚を期に | |

問5. 別府市での居住経験

・「ない」が56%と、「ある」の36%を上回っている。

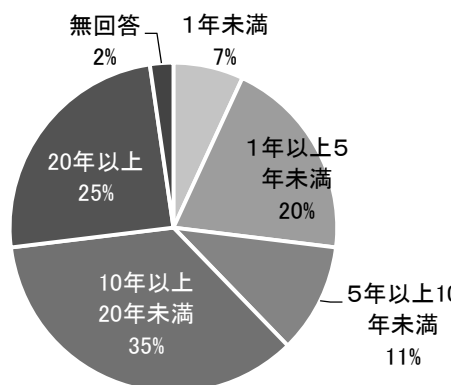
【居住経験】 N=356



別府市での居住経験がある方の居住年数

・「10年以上」が35%と最も多く、次いで「20年以上」が25%となっている。居住年数が長いほど再転入する可能性が高いと言える。

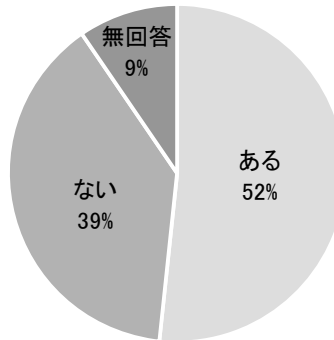
【居住年数】 N=130



問6. 転出の可能性

・「ある」が52%と、「ない」の39%を上回っている。

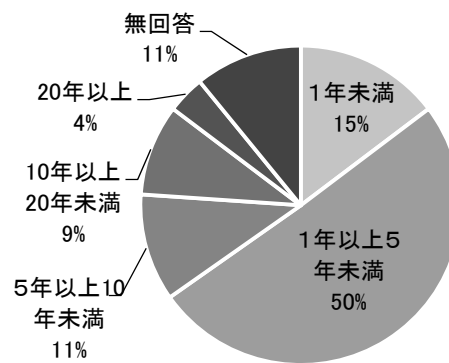
【転出の可能性】 N=356



転出までの居住予定年数

・転出の可能性がある場合の居住予定年数は5年未満が50%となっており、仕事の都合で再び転出する可能性が高いと言える。

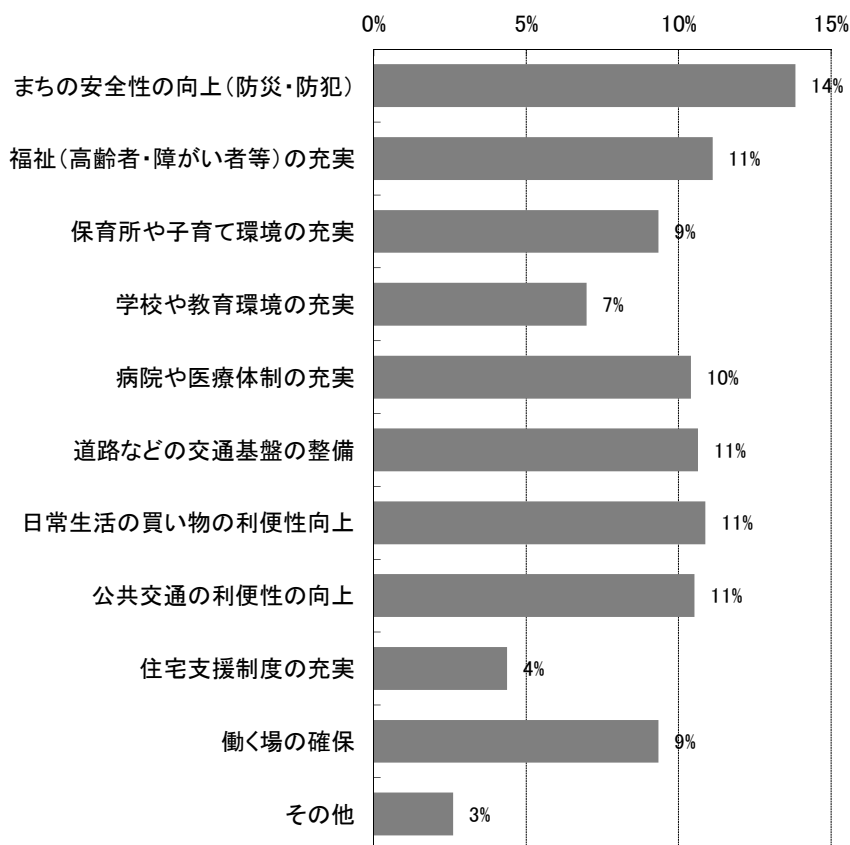
【居住予定年数】 N=184



問7. まちづくりへの期待（全体）

・「まちの安全性の向上（防災・防犯）」が117件で最も多く、次いで「福祉（高齢者・障がい者等）の充実」が11%（94件）、「日常生活の買い物の利便性向上」が11%（92件）となっている。

【まちづくりへの期待（全体）】 N=846



【その他】

- ・いまのところなし
- ・別府市の対応は最低です。
- ・窓口の皆さん親切で助かりました。有難うございました。
- ・芸術活動へのサポート
- ・美しい別府をお願いします。(見た目が少し美しい町ではない。)看板等の朽ち果てた字などが見苦しい。
- ・活気のある町、若者が楽しめるところもつくる。
- ・別府図書館の拡大を求む！
- ・誠意ある市政
- ・文化面の向上、商店街の充実。

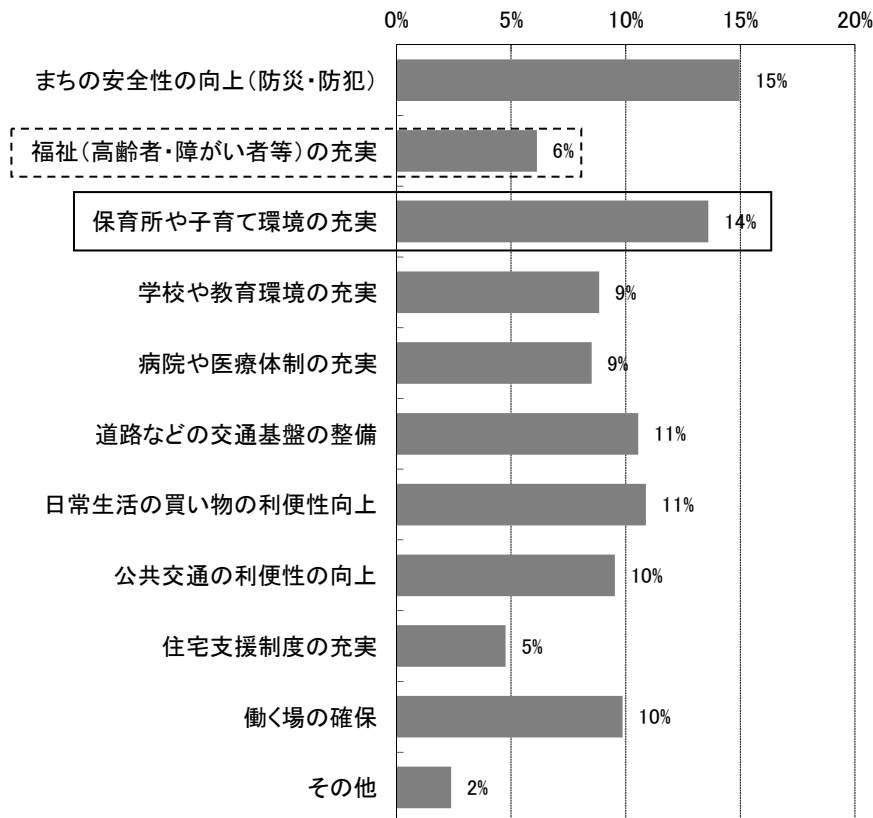
- ・外国人が多すぎ
- ・衛生面(野良猫の糞、カラス・鳩の糞)。JR別府駅が青山通りを分断してバスが通り抜けられず、大分交通バスが別府駅に来ない。10号線を素通りして大分の方へ行ってしまうことを改善していただきたい。
- ・主要道路があと2本程あれば渋滞緩和にもつながると思う。道路をつくってほしい。
- ・アルバイトの最低賃金の引き上げ
- ・公共交通(バス)の運賃が安くなること
- ・道路を整備して

- ・市役所の駐車場が狭すぎて止める場所がないので増設してください
- ・国民保険税等の税金の軽減
- ・文化的事業の活性化を期待しています。
- ・町の住居表示が福岡に比べて少ないので旅行者にわかりにくい。粕屋町は住宅の塀や電柱に場所表示がされていたので便利でしたので、別府市にもそれを希望します。別府は旅行者が多いので！！

まちづくりへの期待（20～30代）

- ・「まちの安全性の向上（防災・防犯）」が15%（44件）で最も多く、次いで「保育所や子育て環境の充実」が14%（40件）、「日常生活の買い物の利便性向上」が11%（32件）となっている。
- ・全体と比較した場合、「保育所や子育て環境の充実」については20～30代の割合が高く、「福祉（高齢者・障がい者等）の充実」については割合が低くなっている。

【まちづくりへの期待（20～30代）】 N=846



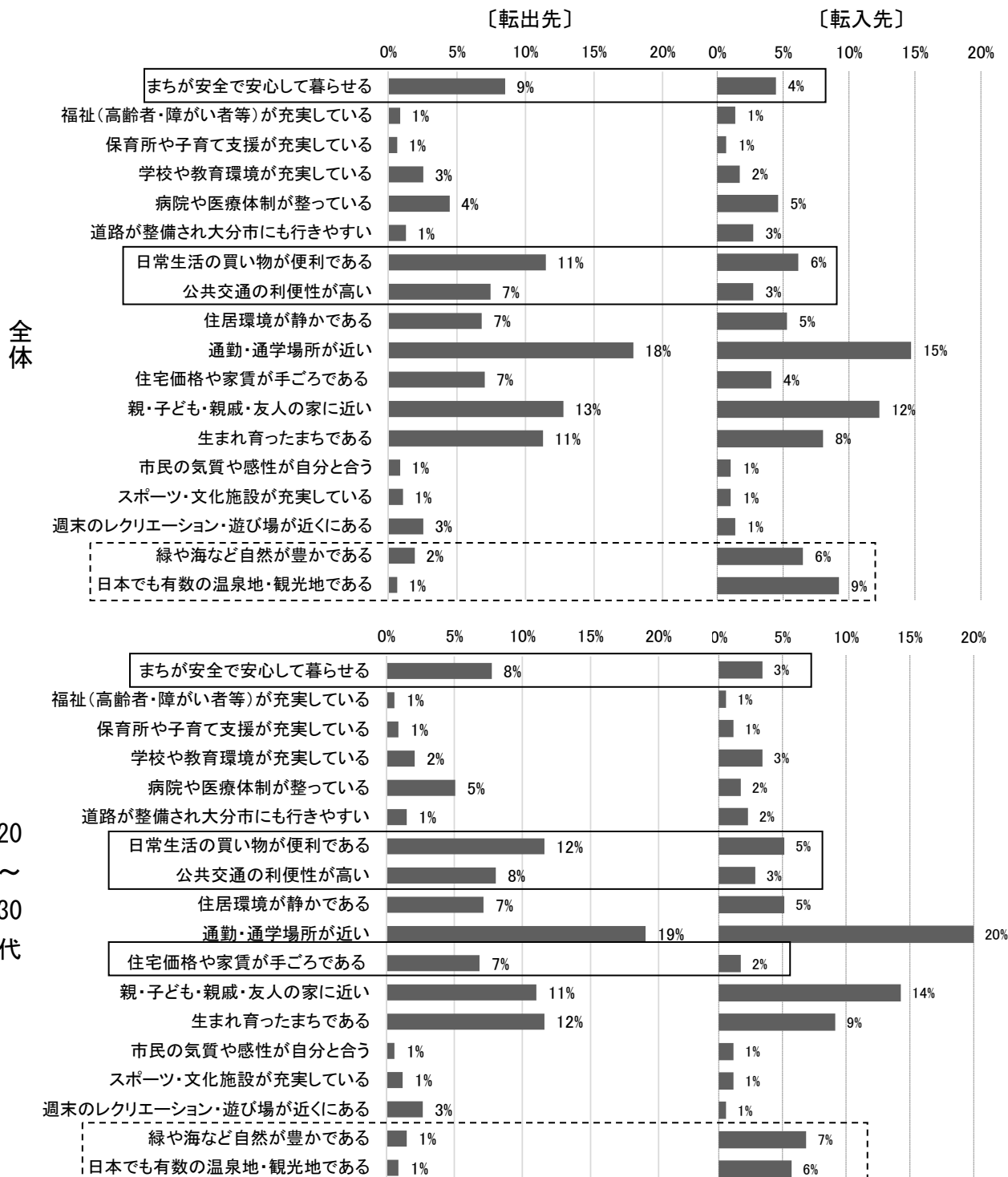
【その他】

- | | | |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・窓口の皆さん親切で助かりました。有難うございました。 ・芸術活動へのサポート ・活気のある町、若者が楽しめる場所もつくる。 | <ul style="list-style-type: none"> ・別府図書館の拡大を求む！ ・主要道路があと2本程あれば渋滞緩和にもつながると思う。道路をつくってほしい。 ・国民保険税等の税金の軽減 | <ul style="list-style-type: none"> ・文化的事業の活発化を期待しています。 ・外国人が多すぎ ・道路を整備して |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|

5. 転出者と転入者の比較について

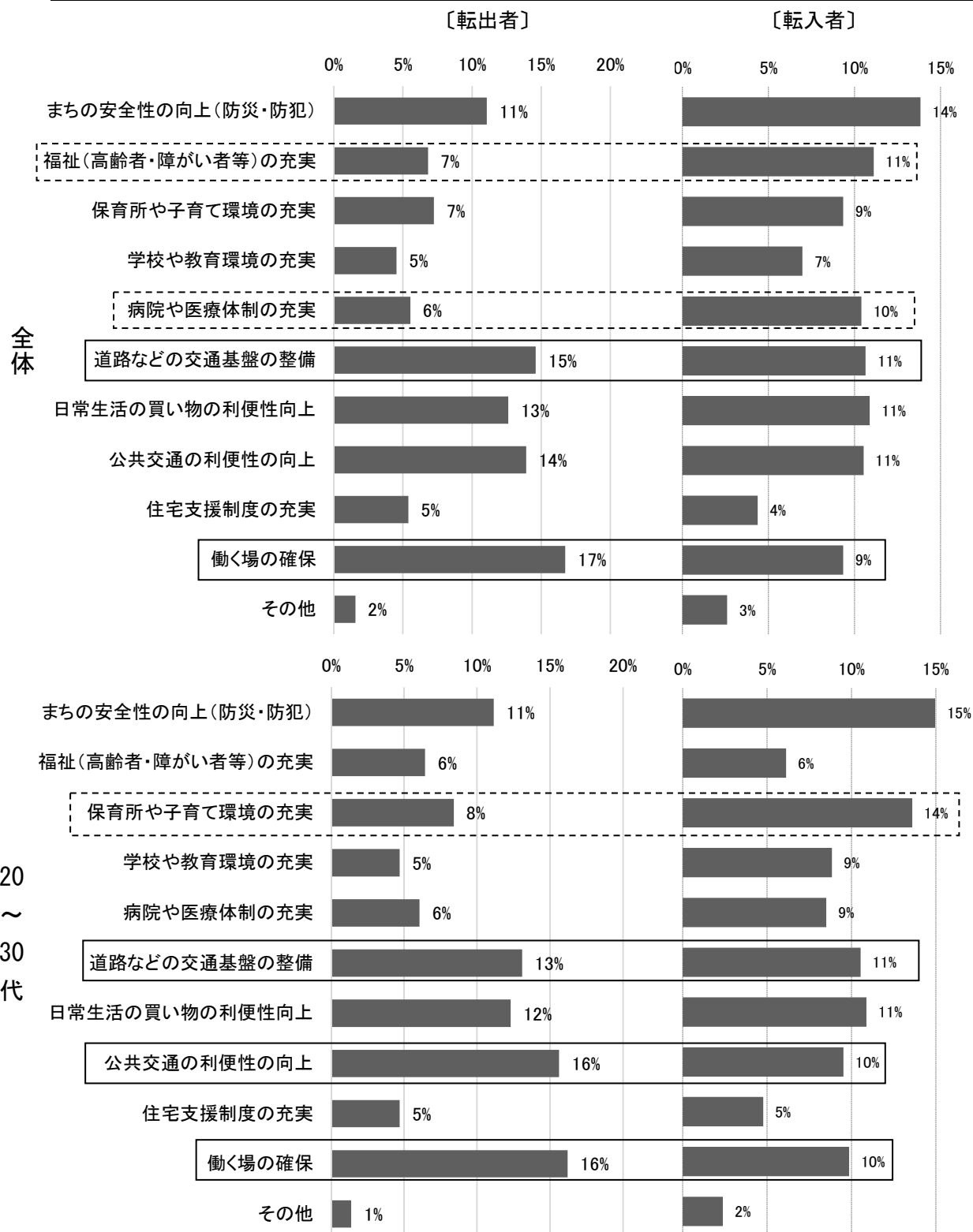
■転出先又は転入先（別府市）を選んだ理由（転出先と転入先で大きな差が見られる理由）

- ・転出先を選んだ理由として重視する傾向にある項目としては、「まちが安全で安心して暮らせる」「日常生活の買い物が便利である」「公共交通の利便性が高い」が挙げられる。さらに、20～30代については、「住宅価格や家賃が手ごろである」について、転出先を選んだ理由として重視する傾向がある。
- ・転入先（別府市）を選んだ理由として重視する傾向があるにある項目としては、「緑や海など自然が豊かである」「日本でも有数の温泉地・観光地である」が挙げられる。



■別府市のまちづくりへの期待

- ・転出者の方が重視する傾向がある項目としては、「道路などの交通基盤の整備」「働く場の確保」が挙げられる。また、20～30代では特に「公共交通の利便性の向上」が挙げられる。
- ・転入者の方が重視する傾向がある項目としては、全体では「福祉（高齢者・障がい者等）の充実」「病院や医療体制の充実」が挙げられる。20～30代では、「保育所や子育て環境の充実」が挙げられる。



5. アンケート調査票（転出者向けアンケート調査）

「転出者の皆様へのアンケート調査」

このアンケートは、別府市が今後行う事業を検討するために実施しています。ご協力をお願いいたします。

別府市役所 企画部政策推進課

問1 今回、転出されるすべての方の性別、年齢、職業について、当てはまる番号を下表の選択肢から選んで記入してください。また、世帯主との続柄(妻・子 など)も記入して下さい。

【回答欄】

| 質問 | 転出されるすべての方について下の太枠内に記入 (世帯主に○を記入) | | | | | | 続柄の記載例 本人、夫、妻、父、母、子、孫 兄、姉、弟、妹、叔父、叔母 等 |
|-----------|--------------------------------------|----|----|----|----|----|---------------------------------------------|
| | 続柄 | 続柄 | 続柄 | 続柄 | 続柄 | 続柄 | |
| | 本人 | | | | | | |
| (1) 性別 | | | | | | | |
| (2) 年齢 | | | | | | | |
| (3) 職業 | | | | | | | |

【選択肢】

| 質問 | 番号 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 性別 | ① 男 ② 女 |
| (2) 年齢 | ① 未就学児 ② 9歳以下 ③ 10代 ④ 20代 ⑤ 30代 ⑥ 40代 ⑦ 50代 ⑧ 60代 ⑨ 70代以上 |
| (3) 職業 | ① 会社員等(会社役員含む) ② 自営業(農林漁業従事者含む) ③ 公務員 ④ 大学生・専門学校生 ⑤ 小・中・高校生 ⑥ 無職(家事従事者含む) ⑦ その他(パート・アルバイト含む) |

問2 転出前後の状況についてお答え下さい。

(1) 転出後の住所について(※口の中に記入)

□□□□ 都・道・府・県 □□□□ 市・町・村

(2) 転出前後の住宅の所有関係について(※1つに○印を記入)

(※「住宅の所有関係」「住宅の形態」のそれぞれ1つに○印を記入)

| | 住宅の所有関係 | 住宅の形態 |
|-----|---------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 転出前 | ① 持家 ② 借家(市営・県営住宅、公団住宅等) ③ 借家(民間) ④ 社宅・寮 ⑤ その他 | ① 一戸建て ② マンション ③ アパート(2階建て程度) ⑤ その他 |
| 転出後 | ① 持家 ② 借家(市営・県営住宅、公団住宅等) ③ 借家(民間) ④ 社宅・寮 ⑤ その他 | ① 一戸建て ② マンション ③ アパート(2階建て程度) ⑤ その他 |

(3) 世帯主様の転出前の勤務先(又は学校)について(※1つに○印を記入)

また、②別府市外とお答えの方は、勤務先についてもご記入下さい。

① 別府市内 ② 別府市外 (□□□□ 都・道・府・県 □□□□ 市・町・村)

③ 無職(通勤や通学はない)

問3 別府市には何年お住まいになりましたか。あてはまる番号(1つ)に○をつけて下さい。

① 1年未満 ② 1年以上5年未満 ③ 5年以上10年未満 ④ 10年以上20年未満 ⑤ 20年以上

問4 転出される主な理由を次の中からお答え下さい。あてはまる番号に○をつけて下さい。(※複数回答可)

- ① 仕事の都合(就職、転勤、転職、退職など)
- ② ご自身の学校の都合(進学、通学など)
- ③ 子どもの学校の都合
- ④ 住宅の都合(持ち家の購入など)
- ⑤ 結婚や離婚のため
- ⑥ 親の介護等のため
- ⑦ その他【※自由記入欄

】

問5 転出先を選んだ理由を下記の選択肢の中からお答え下さい。

あてはまる番号を以下の空欄に記入して下さい。(※複数回答可)

| |
|------------|
| (番号を記入) |
| その他(自由記入欄) |

問6 別府市にお住まいになって別府の魅力と感じた点をお答えください。

あてはまる番号を以下の空欄に記入して下さい。(※複数回答可)

| |
|------------|
| (番号を記入) |
| その他(自由記入欄) |

【選択肢】

- ① まちが安全で安心して暮らせる
- ② 福祉(高齢者・障がい者等)が充実している
- ③ 保育所や子育て支援が充実している
- ④ 学校や教育環境が充実している
- ⑤ 病院や医療体制が整っている
- ⑥ 道路が整備され大分市にも行きやすい
- ⑦ 日常生活の買い物が便利である
- ⑧ 公共交通の利便性が高い
- ⑨ 住居環境が静かである
- ⑩ 通勤・通学場所が近い
- ⑪ 住宅価格や家賃が手ごろである
- ⑫ 親・子ども・親戚・友人の家に近い
- ⑬ 生まれ育ったまちである
- ⑭ 市民の気質や感性が自分と合う
- ⑮ スポーツ・文化施設が充実している
- ⑯ 週末のレクリエーション・遊び場が近くにある
- ⑰ 緑や海など自然が豊かである
- ⑱ 日本でも有数の温泉地・観光地である

問7 別府市にお住まいになって、満足されましたか。あてはまる番号(1つ)に○をつけて下さい。

- ① 満足
- ② どちらかといえば満足
- ③ どちらかといえば不満
- ④ 不満

問8 今後別府市にもう一度帰りたい(住みたい)と思われますか。あてはまる番号(1つ)に○をつけて下さい。

- ① 帰りたい(住みたい)
- ② 帰る(住む)気はない
- ③ わからない

問9 今後、どのようなことを充実させると、別府市がより「暮らしやすいまち」になるとお考えですか。

あてはまる番号に○をつけて下さい。(※複数回答可)

- ① まちの安全性の向上(防災・防犯)
- ② 福祉(高齢者・障がい者等)の充実
- ③ 保育所や子育て環境の充実
- ④ 学校や教育環境の充実
- ⑤ 病院や医療体制の充実
- ⑥ 道路などの交通基盤の整備
- ⑦ 日常生活の買い物の利便性向上
- ⑧ 公共交通の利便性の向上
- ⑨ 住宅支援制度の充実
- ⑩ 働く場の確保
- ⑪ その他【※自由記入欄

】

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

6. アンケート調査票（転入者向けアンケート調査）

「転入者の皆様へのアンケート調査」

このアンケートは、別府市が今後行う事業を検討するために実施しています。ご協力をお願いいたします。

別府市役所 企画部政策推進課

問1 今回、転入されるすべての方の性別、年齢、職業について、当てはまる番号を下表の選択肢から選んで記入してください。また、世帯主との続柄(妻・子 など)も記入して下さい。

【回答欄】

| 質問 | 転入されるすべての方について下の太枠内に記入 (世帯主に○を記入) | | | | | | 続柄の記載例 |
|-----------|--------------------------------------|----|----|----|----|----|-----------------------------------|
| | 続柄 | 続柄 | 続柄 | 続柄 | 続柄 | 続柄 | 本人、夫、妻、父、母、子、孫 兄、姉、弟、妹、叔父、叔母 等 |
| (1) 性別 | 本人 | | | | | | |
| (2) 年齢 | | | | | | | |
| (3) 職業 | | | | | | | |

【選択肢】

| 質問 | 番号 |
|--------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) 性別 | ① 男 ② 女 |
| (2) 年齢 | ① 未就学児 ② 9歳以下 ③ 10代 ④ 20代 ⑤ 30代 ⑥ 40代 ⑦ 50代 ⑧ 60代 ⑨ 70代以上 |
| (3) 職業 | ① 会社員等(会社役員含む) ② 自営業(農林漁業従事者含む) ③ 公務員 ④ 大学生・専門学校生 ⑤ 小・中・高校生 ⑥ 無職(家事従事者含む) ⑦ その他(パート・アルバイト含む) |

問2 転入前後の状況についてお答え下さい。

(1) 転入前の住所について(※口の中に記入)

都・道・府・県 市・町・村

(2) 転入前後の住宅の所有関係について

(※「住宅の所有関係」「住宅の形態」のそれぞれ1つに○印を記入)

| | 住宅の所有関係 | 住宅の形態 |
|-----|---------------------------------------------------|----------------------------------------|
| 転入前 | ① 持家 ② 借家(市営・県営住宅、公団住宅等) ③ 借家(民間) ④ 社宅・寮 ⑤ その他 | ① 一戸建て ② マンション ③ アパート(2階建て程度) ⑤ その他 |
| 転入後 | ① 持家 ② 借家(市営・県営住宅、公団住宅等) ③ 借家(民間) ④ 社宅・寮 ⑤ その他 | ① 一戸建て ② マンション ③ アパート(2階建て程度) ⑤ その他 |

(3) 世帯主様の転入後の勤務先(又は学校)について(※1つに○印を記入)

また、②別府市外とお答えの方は、勤務先についてもご記入下さい。

- ① 別府市内 ② 別府市外 (都・道・府・県 市・町・村)
③ 無職(通勤や通学はない)

問3 転入される主な理由を次の中からお答え下さい。あてはまる番号に○をつけて下さい。

(※複数回答可)

- | | |
|------------------------|----------------------|
| ① 仕事の都合(就職、転勤、転職、退職など) | ② ご自身の学校の都合(進学、通学など) |
| ③ 子どもの学校の都合 | ④ 住宅の都合(持ち家の購入など) |
| ⑤ 結婚や離婚のため | ⑥ 親の介護等のため |
| ⑦ その他【※自由記入欄 | 】 |

問4 別府市を転入先にした理由を次の中からお答え下さい。あてはまる番号に○をつけて下さい。

(※複数回答可)

- | | |
|--------------------|-------------------------|
| ① まちが安全で安心して暮らせる | ② 福祉(高齢者・障がい者等)が充実している |
| ③ 保育所や子育て支援が充実している | ④ 学校や教育環境が充実している |
| ⑤ 病院や医療体制が整っている | ⑥ 道路が整備され大分市にも行きやすい |
| ⑦ 日常生活の買い物が便利である | ⑧ 公共交通の利便性が高い |
| ⑨ 住居環境が静かである | ⑩ 通勤・通学場所が近い |
| ⑪ 住宅価格や家賃が手ごろである | ⑫ 親・子ども・親戚・友人の家に近い |
| ⑬ 生まれ育ったまちである | ⑭ 市民の気質や感性が自分と合う |
| ⑮ スポーツ・文化施設が充実している | ⑯ 週末のレクリエーション・遊び場が近くにある |
| ⑰ 緑や海など自然が豊かである | ⑱ 日本でも有数の温泉地・観光地である |
| ⑲ その他【※自由記入欄 | 】 |

問5 これまで別府市に居住したことはありますか。あてはまる番号(1つ)に○をつけて下さい。

- ① はい ② いいえ

また、①はいとお答えの方は居住年数があてはまる番号(1つ)に○をつけて下さい。

- ① 1年未満 ② 1年以上5年未満 ③ 5年以上10年未満 ④ 10年以上20年未満 ⑤ 20年以上

問6 今後別府市から転出する可能性はありますか。あてはまる番号(1つ)に○をつけて下さい。

- ① はい ② いいえ

また、①はいとお答えの方は別府市での居住予定年数があてはまるもの(1つ)に○をつけて下さい。

- ① 1年未満 ② 1年以上5年未満 ③ 5年以上10年未満 ④ 10年以上20年未満 ⑤ 20年以上

問7 別府市のまちづくりに対して、どのようなことを期待しますか。あてはまる番号に○をつけて下さい。

(※複数回答可)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ① まちの安全性の向上(防災・防犯) | ② 福祉(高齢者・障がい者等)の充実 |
| ③ 保育所や子育て環境の充実 | ④ 学校や教育環境の充実 |
| ⑤ 病院や医療体制の充実 | ⑥ 道路などの交通基盤の整備 |
| ⑦ 日常生活の買い物の利便性向上 | ⑧ 公共交通の利便性の向上 |
| ⑨ 住宅支援制度の充実 | ⑩ 働く場の確保 |
| ⑪ その他【※自由記入欄 | 】 |

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

7. 移住・定住意識調査に関する結果概要及び考察

(1) 移住・定住意識調査に関する結果概要

➤ 全体の傾向

転出者、転入者ともに 20～30 代が多く、転出先、転入前の住所としては、大分市が圧倒的に高い。転出入する理由としては「仕事の都合」が最も高く、転出先、転入先（別府市）を選ぶ理由としては、「通勤・通学場所が近い」が最も高い。

転出者の再転入の有無については、「帰りたい（住みたい）」が約 4 割と最も高い一方で、転入者の今後の転出の可能性については「転出の可能性はある」が約 5 割であり、その中でもさらに約 5 割が別府市での居住年数が 5 年未満となっている。

また、転出者の別府市の魅力としては、別府ならではの「温泉」や「豊かな自然」が挙げられている。

さらに、20～30 代に着目すると、転出者のうち別府市に再転入したいと考える割合が全体と比較すると若干低くなっている。また、転入者に関して転入先（別府市）を選んだ理由として「通勤・通学場所が近い」の割合が高い一方、「日本でも有数の温泉地・観光地である」については割合が低くなっている。

➤ 転出者と転入者の比較

転出前後の住居の所有状況を見ると、転出前は借家の割合が高く、転出後は持家が高く、転入前後の住居の所有状況は、転入前は持家の割合が高く、転入後は借家が高い。また、転出入先を選んだ理由を比較すると、特に「まちが安全で安心して暮らせる」「日常生活の買い物が便利である」「公共交通の利便性が高い」に関して、転出先を選んだ理由として重視する傾向がある。

さらに、別府市へのまちづくりの期待については特に転出者と転入者で違いがあり、転出者が重視する傾向がある項目として、「道路などの交通基盤の整備」「働く場の確保」が挙げられる。また、転入者が重視する傾向がある項目として、「福祉（高齢者・障がい者等）の充実」「病院や医療体制の充実」が挙げられる。さらに、20～30 代の転出者と転入者を比較すると、転入者が重視する傾向がある項目として「保育所や子育て環境の充実」が挙げられる。また、転出者が重視する傾向がある項目として「公共交通の利便性の向上」が挙げられる。

(2) 移住・定住意識調査に関する考察とまとめ

(1) より、転出者の傾向としては仕事の都合で転出する割合が高く、転出先で持ち家を持つ傾向が高い。その一方で転入者の傾向としては仕事の都合で転入する割合は高いというのは、転出者と同様であるが、転入先（別府市）では借家となる傾向が高い。これらより、現状としては、転出者は転出先で住み続けるために転出する傾向が高い一方で、転入者については一時的な居住が目的となっていると想定される。

しかし、転出者の再転入の意向として「帰りたい」が約 4 割あり、今後仕事の都合で一度は別府市を離れる市民に対して、いかに再転入してもらえるかが重要である。また、転入者に対しても別府市へのまちづくりの期待で上位に上げられている項目について充実させるとともに別府の魅力を感じてもらい、定住に繋げるかが重要となる。